

各作業部会の活動内容について

【乳幼児期・学齢期作業部会】

課 題（H30 年度から検討している保護者向けハンドブック）

- ・対象者が不明確（「障害」を使わない⇔発達障害の説明）
- ・保護者に気軽に渡せない
- ・相談窓口を知らない家族や子ども園の先生向けに社会資源がわかるパンフレットがほしい

平成 30 年度から検討していた

保護者向けハンドブックを作らず、

既存の資料を改良する

メリット

- ・どの方にも渡しやすい、紹介しやすい
- ・社会資源がわかりやすい

既存の資料について

- (1) 2019 子育てハンドブック【子ども未来課】
- (2) 子ども・若者支援マップ【青少年育成課子ども若者相談センター】
- (3) 「子育ての心配ごとについて相談できます」【障害福祉企画課】

スケジュール

- (1) 2020 子育てハンドブック：令和 2 年度 8 月 配布
- (2) 子ども・若者支援マップ改訂版：令和 2 年度中 配布

【成人期作業部会】

課 題（H30 年度から検討している保護者向けハンドブック）

- ・ターゲットとコンセプトが不明確
- ・保護者向けに限定すると、就労先や大学への助言が載せられない
- ・受容できている親に対しては利用できる支援機関一覧表がほしい
- ・発達障害の正確な情報が得られるようにしたい

新たにリーフレットを作成する

チェック項目付きリーフレット(案)・・・資料 1-2

<利用対象者>

本人（18 歳以上）、家族、支援機関（就労先・大学生活センター・保健福祉センター・包括支援センターなど）

<目 的>

- (1) チェック項目により本人が自分の困りごとを明確化でき、適切相談先がわかる、相談先に自分の困りごとを伝えやすくなる
- (2) 支援機関がアセスメント時に使用し、本人の困りごとを把握し、必要に応じて本人に合った相談先を紹介できる

スケジュール

今年度中に配布（第 2 回協議会にて完成報告）